

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：★D-23-2-14	
事業名：網置場・干場整備事業	
事業費：総額 26,801 千円 国費 21,440 千円 (内訳：設計費 4,561 千円, 工事費 22,240 千円)	
事業期間：平成 27 年度	
事業目的：漁港周辺が災害危険区域に指定され、防災集団移転促進事業による土地の買収が進められており、漁業者が震災前と同様に自宅周辺に個人で漁具の干場や保管場所を確保することが困難な状況である。そこで、集団移転元地を有効活用し、漁業の復興を推進するため、漁港周辺に網干場等を集約し整備する。	
事業地区：荒浜地区	
事業結果	
<p><網干場></p> <p>整備面積 A=2,939 m²</p> <ul style="list-style-type: none">・アスファルト舗装 A=2,724 m²・砂利舗装面積 A=215 m² <p>事業費</p> <ul style="list-style-type: none">・測量設計 3,913 千円・整備工事 16,624 千円	
<p><網置場></p> <p>整備面積 A=1,800 m²</p> <ul style="list-style-type: none">・アスファルト舗装 A=1,215.64 m²・砂利舗装面積 A=584.36 m² <p>事業費</p> <ul style="list-style-type: none">・測量設計 648 千円・整備工事 5,616 千円	
事業の実績に関する評価	
① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価	
○漁港から近い場所となり、操業後の網の手入れ等の場所として有効的に活用されている。	
⇒ 上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。	

② コストに関する調査・分析・評価

○防災集団移転促進事業により取得した土地を活用したことで、用地費の削減及び土地の有効活用を図ることができた。

○巨理町財務規則等に基づき、適正に指名競争入札を実施しており、事業費積算においては、土木工事標準積算基準及び適切な算定根拠に基づき算定している。

⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	想定事業期間	実際の事業期間
測量設計	平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月	平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
工事	平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月	平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月

○漁港周辺に網干場及び置場を設けることで、漁業者の利便性の向上が図られた。

○事業期間も計画とおりに進めることができた。

⇒ 利用の方法、規模など漁業者の意向把握に努めたことで、効率的に事業を進めることが出来き、想定事業期間内で事業完了したことから事業手法として妥当であったと判断する。

事業担当部局

巨理町農林水産課水産班 電話番号：0223-34-0503